【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成18年11月24日(2006.11.24)

【公表番号】特表2006-520185(P2006-520185A)
【公表日】平成18年9月7日(2006.9.7)
【年通号数】公開・登録公報2006-035
【出願番号】特願2004-549136(P2004-549136)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　14/155　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　19/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　48/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/12　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/18　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/02　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/48　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　15/00　ＺＮＡＡ
Ｃ０７Ｋ　14/155
Ｃ０７Ｋ　19/00
Ａ６１Ｋ　48/00
Ａ６１Ｋ　39/12
Ａ６１Ｐ　31/18
Ａ６１Ｋ　47/02
Ａ６１Ｋ　47/48

【手続補正書】
【提出日】平成18年9月28日(2006.9.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
ヘテロローガスなプロモーターに操作可能に結合した、哺乳動物標的細胞において発現される場合に実質的にグリコシル化されていない、ＨＩＶエンベロープタンパク質または少なくとも１つのＨＩＶエピトープを含有するＨＩＶエンベロープタンパク質フラグメント、あるいはその免疫原性誘導体をコード化する配列を含むポリヌクレオチドであって、そのＨＩＶエンベロープタンパク質またはフラグメントあるいは免疫原性誘導体をコード化する配列が哺乳動物標的細胞にてグリコシル化を軽減または防止するのに適用されるところの、ポリヌクレオチド。